

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	前田 容子	学校名	氷川町立竜北西部小学校
実施学年	小学1年	教科	算数
单元名	ものとひとつのかず		

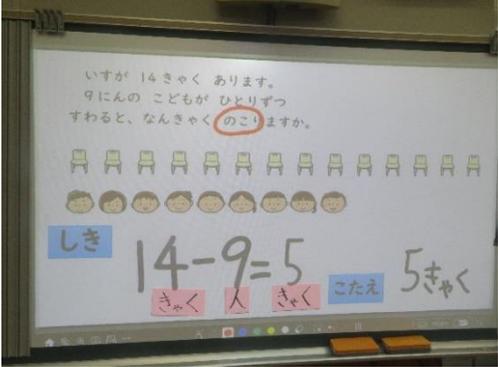
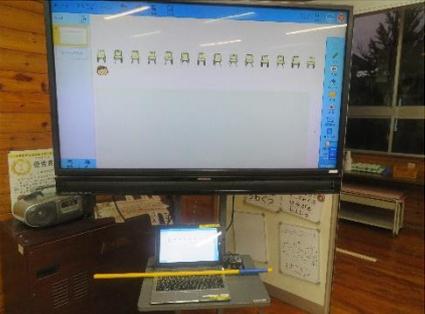
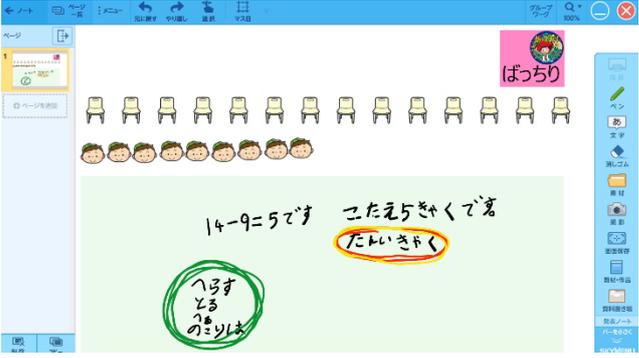
《学びを深めたいポイント》

- ★本校の研究テーマ 柱①「主体的・協働的な学びに向かう基盤を築くための学習基盤づくり」より、学習規律の徹底「ものに触らないで話を聴く」
 - ★本校の研究テーマ 柱①「主体的・協働的な学びに向かう基盤を築くための学習基盤づくり」より、「安心して発表できる雰囲気作り」
 - ★本校の研究テーマ 柱②「個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実をはかるための授業づくり」より、「聴き合いタイムの実践」
- 【聴き合いタイムのねらい】
- 「個別最適な学び」では、発表ノートに絵や説明を書き、自分自身で解決する力を身に付けるようにする。
 - 1人学びの後、「意思表示シール」を貼り、自分の現状を公開して積極的に交流するツールとする。
 - 「協働的な学び」では、「意思表示シール」（ばっちり・あとすこし・ききたい）を基に、スカイメニュー「画面一覧」を活用することで意見交流を活発にし、児童同士で学びを深めていくようにする。
 - 自分の考えをうまく表現できない児童は、友だちから助言やヒントをもらったり他者の意見を参照したりすることにより、自分で解き方を選択し、自己決定できるようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

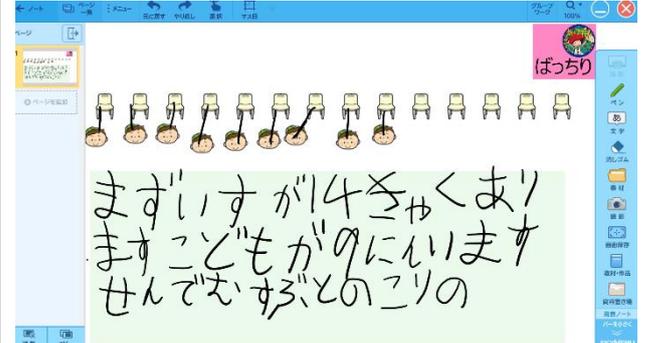
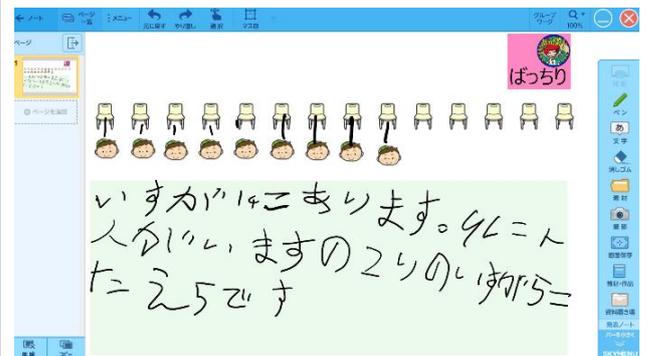
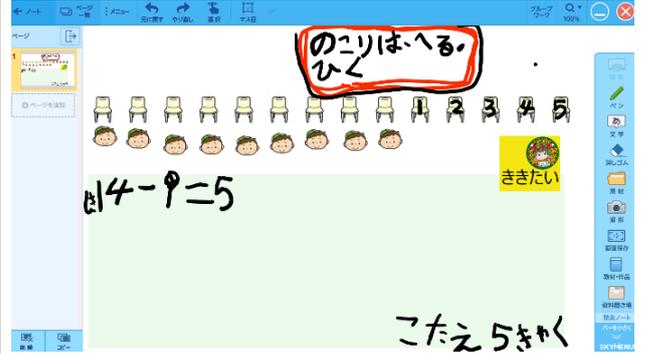
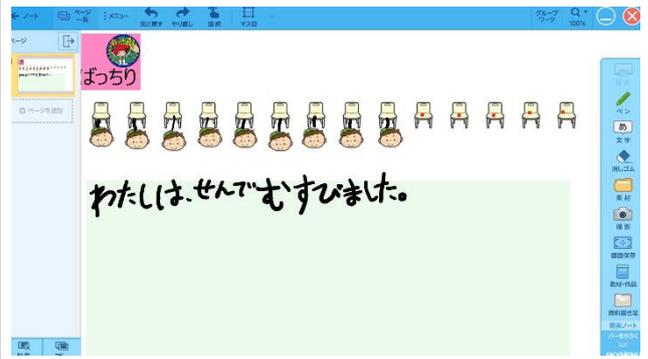
- ★学習規律を徹底するため、個別最適な学びの時間になってから発表ノートを配付するようにする。
- ★児童に配る発表ノートは「背景化」して、提示した資料が動かないように固定をする。
- ★「資料置き場」に使用できる絵や図を入れて置き、個別最適な学びの時間で自分の考えを記入する際、ペンを使って書いたり、「資料置き場」から絵を取り出したりして児童が選択して使用できるようにする。
- ★スカイメニュー「画面一覧」を大型テレビに映しておき、個別最適な学びのはじまりから友だちが記入している様子をリアルタイムで見ることができ、ヒントにして自分の考えを記入することができるようにする。（解き方の自己決定）
- ★「聴き合いタイム」（協働的な学び）
 意思表示シール（ばっちり・あとすこし・ききたい）シールを発表ノートに貼り、友だちの記入している様子を見たり、教えたり、友だちの考えを基に自分の発表ノートを書き換えたりと自由に交流ができるようにする。
- ★全体で意見を共有する時間では、自分の発表ノートを電子黒板に投影して解き方を説明するようにする。

《実践内容》

学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
<p>導入</p> <p>1 課題をつかむ</p>	<div data-bbox="295 300 1214 371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>椅子が14脚あります。9人の子どもが1人ずつ座ると、何脚のこりですか。</p> </div> <p>電子黒板</p>  <div data-bbox="295 819 1214 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】 単位がちう問題は、どのように考えたらいいのだろう。</p> </div> <p>児童に配付する発表ノート</p> 	<p>○電子黒板に問題文（パワーポイントで作成）を提示し、全員で式と答えを考えるようにした。</p> <p>○大型テレビに児童に配付する発表ノートを提示し、これから学習する内容の見通しをもたせるようにした。</p>
<p>展開</p> <p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 自分の考えをもつ。</p>	<p>個別最適な学び</p>  	<p>○「個別最適な学び」は、発表ノートに絵や説明を書き、自分自身で解決しようと取り組んでいた</p> <p>○1人学びの後「意思表示シール」を貼る様子が見られた。</p> <p>児童の発表ノート</p> 

聴き合いタイムの実践

②
友だち
と考え
を共有
する。



○自分の考えをうまく表現できない児童は、友だちの発表ノートを眺めたり黒板隣にある大型テレビに映っている「画面一覧」を見たりして表現の仕方を参考にしていた。

○「協働的な学び」で「意思表示シール」(ばっちり・あとすこし・ききたい)を貼ったことで、「これでよいのか」と悩んだところを伝えやすくなり、児童同士で考えて学びを深めていくことができた。

全体交流の場

③ 全体共有する。



○全体交流の場は、教師の意図的指名でより学びが深まっていくことを実感した。

【まとめ】 単位が違う問題は、人を椅子の数におきかえたように、おきかえてかんがえるとよい。

まとめ
3 「じ・も・と」の視点で振り返りする。

じ:自分ががんばったこと
も:もっと知りたい・やってみたいこと
と:友だちの考えでいいなと思ったこと
の視点で、自分の学習を振り返る。



⑩ おきかえる。という
とばをはじめてしり
ました。

⑪ [] 寸人と [] 寸人
かいますとひとをせんでつ
なけるのかすごいなあ
とおもいました。

《実践を振り返って》

成果(○)及び課題(▲)

○個別最適な学びでは、自分の考えを絵や図、文で表現しようと1人1人が集中して取り組んでいた。発表ノートに載せていた14脚の椅子に子どもの絵をのせたり、線で引っ張ったり、残った5脚の椅子に記を付けたりと工夫して表す様子が見られた。「画面一覧」を眺めたり、友だちが書いている発表ノートを参考にしたりして「こう書けばいいんだ!」と納得して自分の発表ノートに表現する姿が見られた。

○「ばっちり」と意思表示シールを貼って友だちにアドバイスをしていた児童は、全体で意見を共有する場でも自信をもって発表する姿があり、表現に悩んでいる児童のよい参考となった。

▲この日が初めての単元だったため、前単元「ひきざん(2)」で学習したような計算の仕方を説明する児童がいた。また、自分の考えがあっているのか心配で意思表示シールを積極的に貼ることができない児童がいた。教師の発問がとても大事だと感じた。